

# 学校法人 庄内神社学園 庄内こどもの杜幼稚園

## 運動会「杜のお手伝い隊」の様子⑦⑧⑨



### どうぐグループ

7, 8回目の活動では各競技とんな道具が必要かを確認しました。昨年の動画を見ながら「あ、かけこの時、コーンいる!」「年中の時には、このコーンいらん!」など様々な気づきが見られました。この次は、本物の道具を実際に触り、重さや大きさを感じてもらいました。「重い」一緒に持とう!。この発見は、道具出しをする上で「何人で持たないといけないかな」と考える判断材料の一つになりました。一通り確認を終えたら神社で実際に道具出しの練習! 神社の様々な所にかくしている道具を見たり、所定の場所に置くゲームをしました。クラス対抗にしたり、学年で協力あそびながら道具出しの練習をしました。「その道具は、スタートの所!」など声をかけ合いながら、しっかりと道具を出してくれました。まだ広い場所で練習をしていない為、しっかりとリハーサルで練習をし、運動会当日に向けてがんばりたいと思います!



「コーンからスタート」

### 司会・救急隊グループ

9/2の2回の活動にあたり救急隊のシミュレーションやマイクを使って司会の練習をしました。シミュレーションでは、競技の途中でこけた時どうするか、救急隊の子もたたと行くのを嫌がる時どうするかについて話し合い、実際にやってみました。競技の途中でこけた時、こけた子どもが頑張ると言ったらどうするか聞くと、「ゴールまで行って応援したいわんちゃん?」という意見が出てきました。他の子どもたちも聞くと、「いいと思う」と友達に意見を共感していました。次に、嫌がる時はどうするか聞くと、「先生を呼ぶわんちゃん」という意見が出てきました。先生達から「かたがたはたかたか?」という質問に答える子どももいました。なかなか意見が出てこなかったため保育者側から救急隊と一緒にいる理由を誰だ?と聞くと、ハッとしたような顔で「岩崎先生と森山先生!」救急隊の先生と一緒にいっていいわんちゃん?という意見が出てきました。子どもたちと話し合った結果、こけたら最後まで頑張ると言ったらゴールまで応援にいくと、救急隊と一緒にいっていいわんちゃん?という意見が出てきました。救急隊の先生と一緒にいっていいわんちゃん?という意見が出てきました。その後、子どもたちに台本を渡し、マイクを使って司会の練習を園庭と廊下でしました。1回目は、少し緊張してうまく言えていた、間違えた時どうするか、行車でもマイクを使って司会をしていることもあり、上手に言うことが出来ていました。2回目では、前の活動で保育先生からのアドバイスである「取っ手がある?」「やさしくききな声で言う」ということを意識して言うことを言いました。すると、1回目の時より、元気な声でお願い聞いたり言うことが出来ました。お互いの司会を聞いて、もっと良いよ、どうしたら良いと思う?と聞くと、「大きな声で言う」「自分の番がくる前に小さく練習する」という意見が出ました。最後に、リハーサルや本番に向けて頑張ると練習していいわんちゃん?という話をしました。本番までに子どもたちもたくさん練習していいわんちゃん?と思いますので、当日、司会・救急隊として働く子どもたちの姿を楽しみにして下さい!! 森山



↑みんなで救急隊のシミュレーションをしています。



↑マイクを使って司会の練習をしています。



↑お互いの司会を聞き合っています。

### 〈お知らせ、下の子のお手伝いグループ〉

7回目の活動は運動会当日、手伝いに入るクラスや競技時に行く仕事の役割を決めてから案内用の新聞製作をしました。「ひよこ組に入りたい」「グループ係をしたい」等自分の希望を言い、希望が重なれば互いに納得のいくように話し合い進めていきました。新聞製作では前回の取材でわかったことの中から新聞を見てもらう人に伝えたいことを考え、どのようなことを載せるのかを決め下書きをしていきました。

8回目の活動は新聞製作の続きとこれまでの活動内容の振り返りをしました。前日に決めた新聞に載せる内容の本書きを始め「最初、書くわ」「〇〇はこうやって書くわん」「字書かへんから絵描くわ」と意欲的な姿や互いに教え合う姿や自分に来ることを頑張る姿が見られました。

8回の話し合い、活動を終え、後は実際にリハーサルと本番での活動となります。皆のために頑張ってくれることを期待しています。

足立

※裏面に作成した新聞を掲載しています。





